

福島経済マンスリー

5月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 2017年5月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さが続いているものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、百貨店・スーパーともに前年を下回り、合計では6カ月連続で前年比マイナスとなった。一方、乗用車新車登録台数は7カ月連続で前年を上回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が2カ月連続、請負金額と保証金額がともに3カ月連続で前年を下回った。復興需要により大幅に増加した公共投資はピーク時より減少しているものの、引き続き高水準を維持している。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が前年を上回ったものの、床面積と工事費予定額がともに3カ月ぶりに前年を下回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、今年に入り5カ月連続で前年を下回っているが、年間1万戸を大きく超えるペースは引き続き維持している。内訳をみると、持家、貸家、分譲それぞれが前年を下回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比（季節調整値）が+4.5%、前年比（原指数）が△0.4%となった。業種別の前月比をみると、11業種で上昇し8業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比△0.01ポイント、原数値が前年同月比±0ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比+9.2%となった。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は4月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2016年12月	2017年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 1.3	△ 0.9	△ 3.4	△ 1.3	△ 0.7	△ 1.8
	乗用車新車登録台数	12.8	3.0	1.9	13.0	6.6	12.3
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	79.9	△ 4.9	80.6	△ 24.6	△ 25.0	△ 22.0
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 21.4	90.6	△ 35.2	151.5	25.8	△ 60.3
住宅投資	新設住宅着工戸数	4.3	△ 15.3	△ 15.5	△ 19.4	△ 21.4	△ 33.5
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 4.3	r △ 6.5	r △ 7.9	r △ 0.9	△ 0.4	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.02	△ 0.01	0.05	0.06	0.02	0.00
	雇用保険受給者実人員	△ 3.9	△ 0.5	△ 3.2	△ 1.4	△ 2.8	9.2

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

(2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2016年12月	2017年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	25.4	△ 16.8	△ 11.3	11.7	△ 4.5	3.7
	乗用車新車登録台数	△ 5.6	3.9	13.4	61.5	△ 51.1	2.0
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	87.8	△ 31.4	△ 26.0	40.2	△ 14.7	38.2
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	24.0	77.4	△ 59.3	65.3	85.7	△ 70.5
住宅投資	新設住宅着工戸数	11.7	△ 37.6	16.1	3.6	24.9	△ 27.1
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	r △ 1.6	r △ 2.2	r 1.0	r 2.4	4.5	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.03	0.03	0.01	0.03	0.00	△ 0.01
	雇用保険受給者実人員	△ 3.7	2.0	△ 0.2	2.8	△ 5.8	24.5

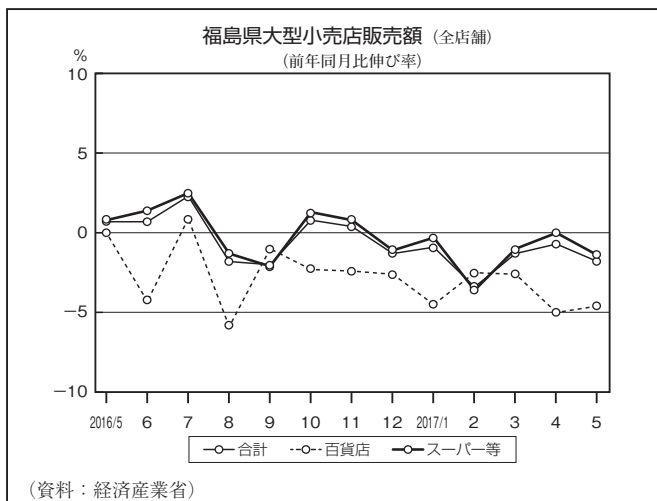
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

3. 県内経済動向

消費動向

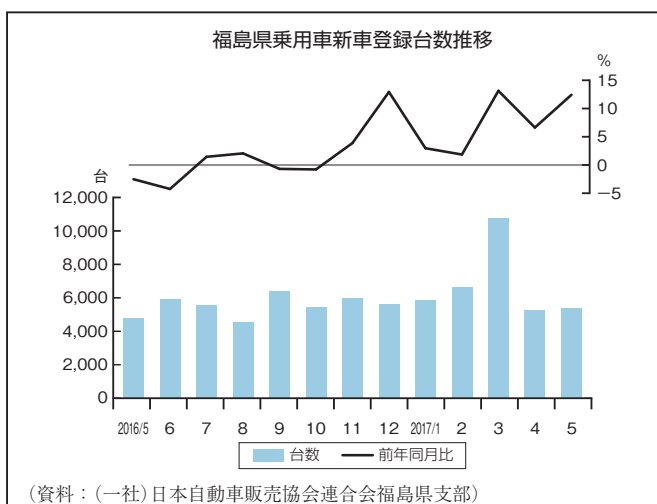
大型小売店：6カ月連続で前年比減

5月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で209億42百万円（前年同月比△1.8%）と6カ月連続で前年を下回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品とも前年を下回ったことなどから、合計では同△4.6%となった。また、スーパーも、衣料品に加え飲食料品が前年をやや下回ったことなどから、合計では同△1.4%と前年を下回った。



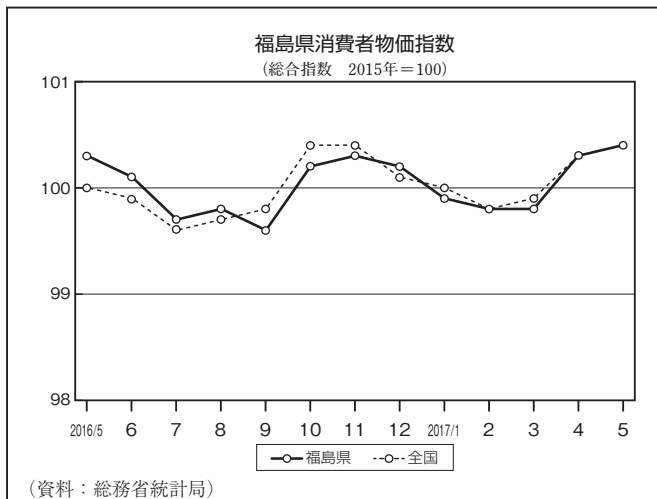
乗用車販売：7カ月連続で前年比増

5月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,350台（前年同月比+12.3%）となり、7カ月連続で前年を上回った。車種別で見ると、普通車が1,779台（同+2.9%）で2カ月ぶり、小型車が1,531台（同+4.9%）で7カ月連続、軽乗用車が2,040台（同+29.6%）で3カ月連続と、いずれも前年を上回った。



消費者物価指数：前年比・前月比ともに上昇

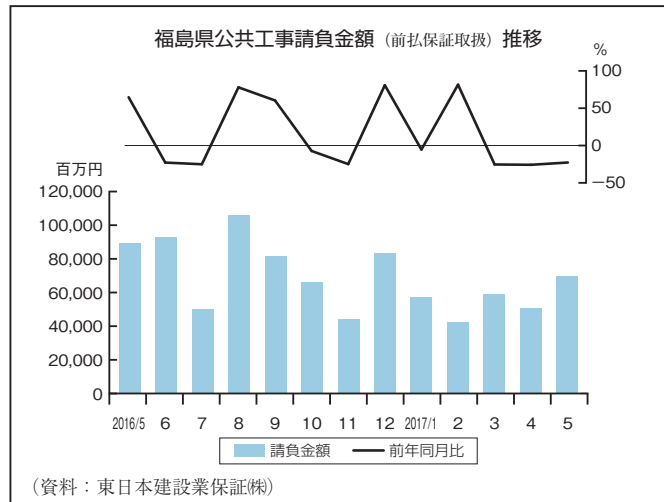
5月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）が100.4で前年同月比+0.1%、前月比+0.1%となった。費目別に前月比で見ると、「光熱・水道」の96.3（同+3.5%）など5費目で上昇し、下降したのは「被服及び履物」の102.8（同△2.3%）など4費目となった。



公共投資

公共工事：請負額は3カ月連続で前年比減

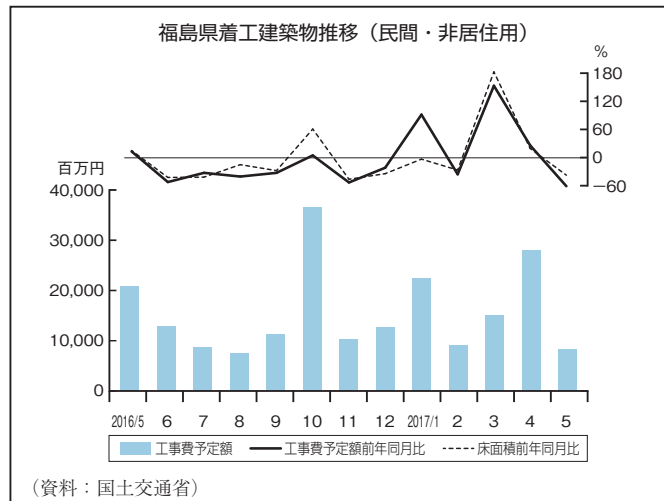
5月の公共工事前払保証取扱は、件数が432件（前年同月比△13.9%）と2カ月連続、請負金額が701億90百万円（同△22.0%）、保証金額が385億42百万円（同△35.1%）とともに3カ月連続で前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が3カ月ぶりに前年比減

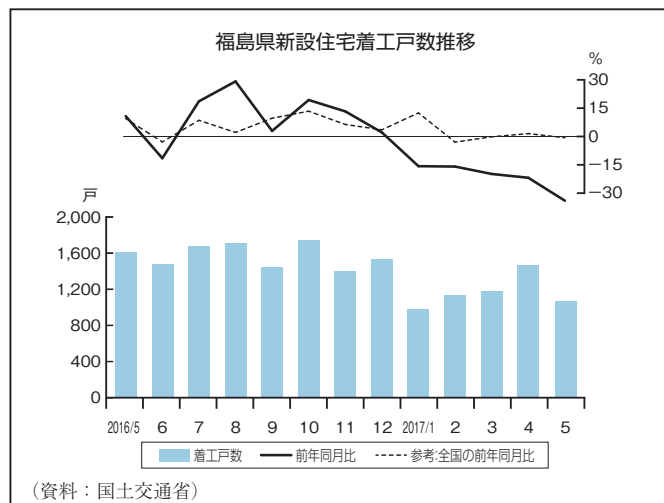
5月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が159棟（前年同月比+13.6%）で2カ月ぶりに前年を上回ったものの、床面積が54,808㎡（同△37.1%）、工事費予定額が82億35百万円（同△60.3%）でともに3カ月ぶりに前年を下回った。



住宅投資

住宅建設：5カ月連続で前年比減

5月の県内新設住宅着工戸数は、1,068戸（前年同月比△33.5%）と5カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は540戸（同△9.8%）で2カ月連続、「貸家」は394戸（同△41.5%）で5カ月連続、「分譲」は134戸（同△59.1%）で3カ月連続と、いずれも前年を下回った。

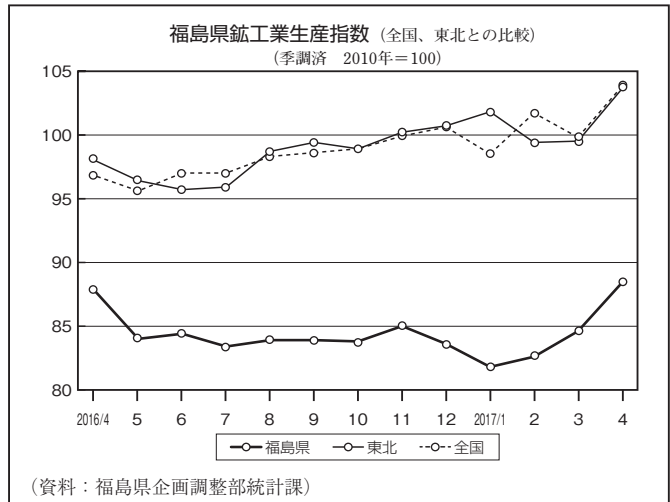


生産活動

※鉱工業生産指数は4月のデータ

鉱工業生産指数：前月比は上昇、前年比は下降

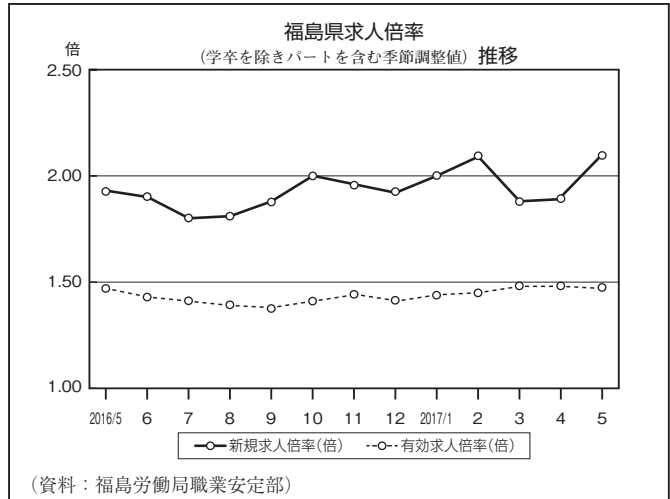
4月の鉱工業生産指数（季節調整値）は88.4で前月比+4.5%と3カ月連続で前月値を上回った。一方、原指数は81.9で前年比△0.4%と5カ月連続で前年値を下回った。業種別の季節調整値をみると、「印刷業」（前月比+13.8%）など11業種で上昇し、「繊維工業」（同△10.1%）など8業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比低下

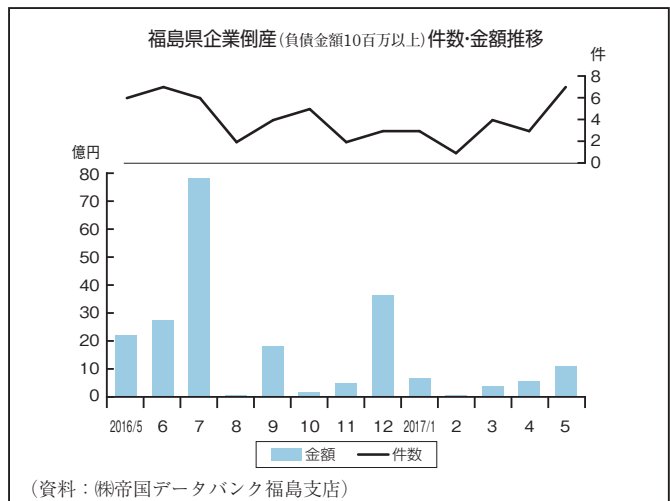
5月の新規求人倍率は、季節調整値が2.09倍（前月比+0.20ポイント）、原数値が1.77倍（前年同月比+0.11ポイント）となった。また、5月の有効求人倍率は、季節調整値が1.47倍（前月比△0.01ポイント）、原数値が1.29倍（前年同月比±0ポイント）となった。一方、5月の雇用保険受給者実人員は6,895人（前年同月比+9.2%）で1年ぶりに前年を上回った。



企業倒産

企業倒産：金額は前年比減

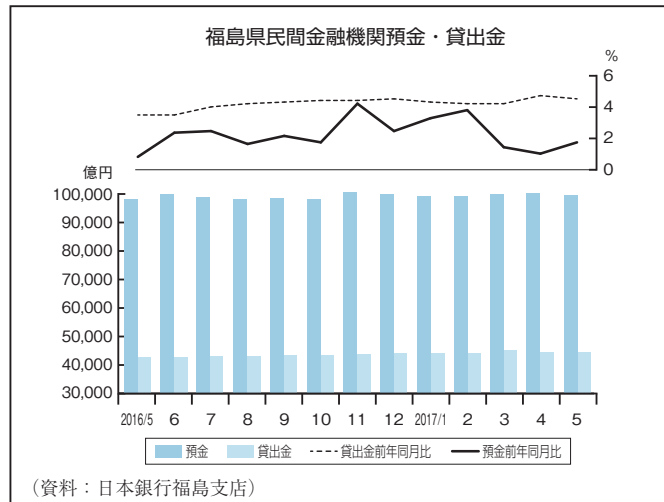
5月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が7件（前年同月比+16.7%）、負債総額が10億86百万円（同△51.1%）と、金額は前年を下回った。業種別では、小売業が3件、製造業が2件、建設業と卸売業がそれぞれ1件ずつとなった。



金融動向

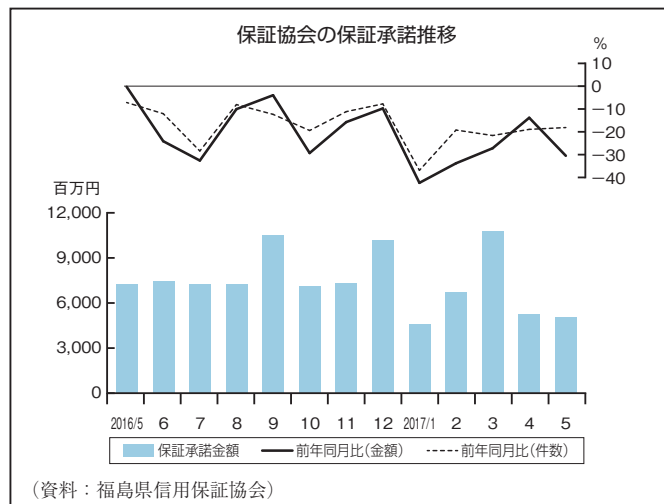
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の5月末の預金残高は、9兆9,802億円（前年同月比+1.7%）と10年3カ月連続、貸出金残高は、4兆4,543億円（同+4.4%）と4年（48カ月）連続で前年を上回った。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比減

5月の保証承諾は、件数が493件（前年同月比△18.2%）、保証金額が50億29百万円（同△30.6%）となった。また、5月末日現在の保証債務残高は、件数36,270件（同△10.6%）、金額3,093億44百万円（同△12.3%）となった。一方、5月中の代位弁済は、件数が41件（同+41.4%）、金額が3億92百万円（同+132.8%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

家電量販店 5月の家電量販店の売上高は、洗濯機や冷蔵庫などの白物家電が前年をやや上回り、パソコンもノート型を中心に引き続き好調を維持するなど、合計では前年を5%ほど上回った。

ホームセンター 5月のホームセンターの売上高は、日用品などで前年をわずかに下回ったものの、エクステリアや作業用品などで前年を上回ったことから、合計では前年をやや上回った。

旅行 5月の旅行取扱額は、国内では団体旅行が

前年を上回り、合計では前年比で3割ほど増加した。一方、海外は政情・治安要素などから個人旅行の需要が伸びず、合計では前年比で5割ほど減少しており、国内外合計では前年をやや下回る水準となった。

高速道路 5月の県内自動車道出入台数は、合計で5,416,575台（前年同月比+1.6%）と、4カ月ぶりに前年を上回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）が2,643,879台（同+0.03%）、常磐自動車道（いわき勿来IC～新地IC）が1,703,211台（同+2.4%）でともに4カ月ぶり、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）が664,134台（同+6.0%）で2カ月ぶり、磐越自

自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）が405,351台（同+1.5%）で3カ月連続と、いずれも前年を上回った。

福島空港 5月の福島空港国内定期路線の利用状況は、20,620人（前年同月比+1.5%）と7カ月ぶりに前年を上回った。路線別にみると、札幌便は5,763人（同+1.0%）、大阪便は14,857人（同+1.7%）となった。

（国際定期路線は全便運休）

生産活動

※企業ヒアリング等による結果

化学 5月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けや家庭用製品の受注が引き続き堅調で、前年並みの生産を維持している。

鉄鋼・金属 5月の伸銅品の生産は、半導体向け電子材及び自動車向け端子材の受注が堅調で、ともに前年を5%ほど上回った。5月の建機用鋳造品は、前年並みの受注を維持しており、合計で前年比ほぼ横ばいの生産となった。5月の鋳鋼品の生産は、船用部品、陸船用バルブがともに前年をやや下回り、合計では前年を5%ほど下回った。

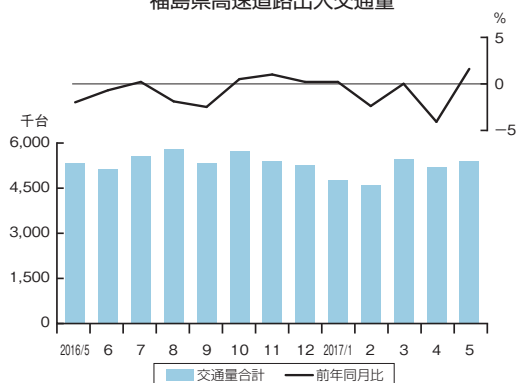
輸送用機械 5月の自動車用鋳造品は、トラック用が好調で、前年並みの受注を維持している。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、生産水準は前年を上回る状況が続いている。

電気機械 5月の電気機械の生産は、モータなどが前年を上回ったものの、変圧器や配電盤などが前年を下回ったことから、合計では前年をわずかに下回った。

情報通信機械 5月の情報処理装置は、前年同様の受注を維持しており、合計ではほぼ前年並みの生産となった。

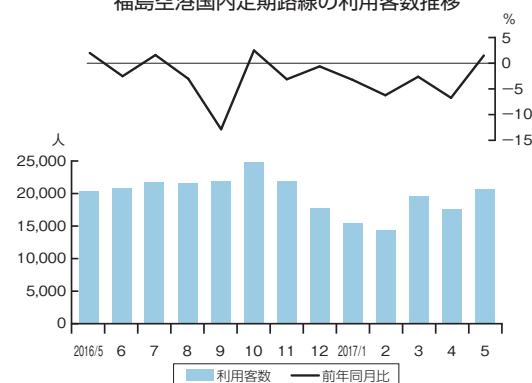
電子部品・デバイス 5月のLSI（大規模集積回路）の生産は、前年を10%ほど下回り、需要の回

福島県高速道路出入交通量



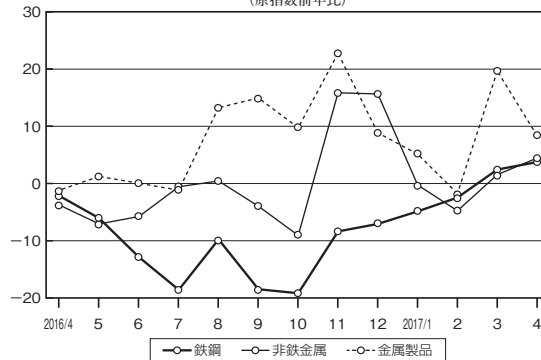
（資料：東日本高速道路(株)東北支社）

福島空港国内定期路線の利用客数推移



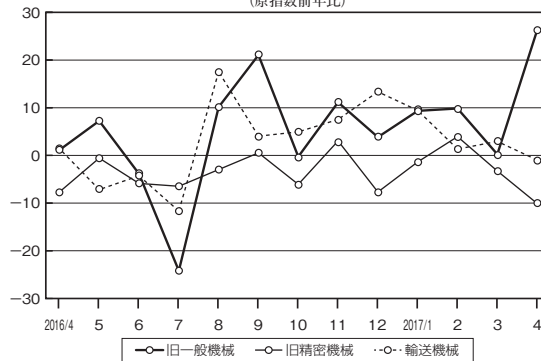
（資料：福島県商工労働部空港交流課）

福島県業種別鋳工業生産指数の推移（その1）
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計課）

福島県業種別鋳工業生産指数の推移（その2）
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計課）

復に一服感がみられる。

精密機械 5月の医療用内視鏡は、国内外ともに受注が好調に推移し、合計では前年を10%ほど上回る生産となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外の受注量が好調に推移し、秋以降の在庫確保に向けフル稼働の生産が続いている。

窯業・土石 5月の生コンクリート出荷量は、全体で138,508m³（前年同月比+10.1%）と15カ月ぶりに前年を上回った。地区別、民需・官公需別にみると、民需では大規模商業施設などの建設が進むいわき地区、県北地区、相双地区で前年を上回り、全体では同+12.7%となった。また、官公需では学校や体育館新設等に伴い県北・県中・白河・会津地区で前年を上回り、全体でも同+4.4%となった。

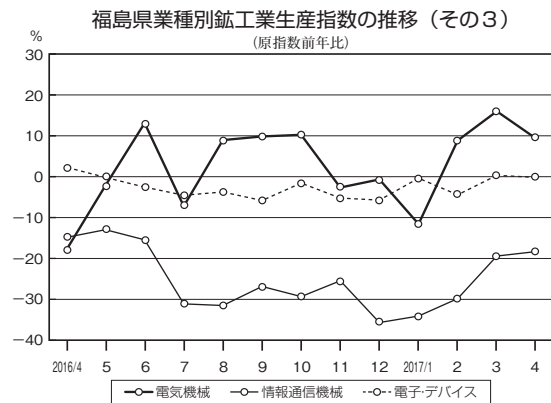
紙・紙加工品 5月の製紙の生産は、ノーカーボン紙が前年を下回る傾向が続いているものの、感熱紙が前年を上回ったことなどから、合計では前年を5%ほど上回った。

清酒 5月の清酒移出数量は、913kL（前年同月比+5.6%）と6カ月ぶりに前年を上回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が433kL（同+6.1%）で9カ月ぶり、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が480kL（同+5.2%）で6カ月ぶりに前年を上回った。

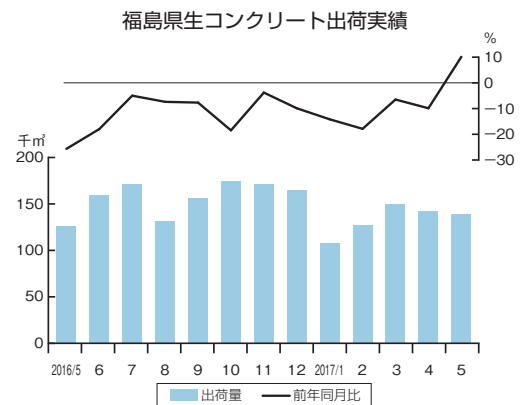
化合繊維物 5月の化合繊維物は、生産量が前年を上回ったものの単価が低下している影響などから、生産額では前年を10%ほど下回った。

ニット 5月のニットは、春夏物製品の受注量が前年並みの水準を維持し、生産額は前年比ほぼ横ばいとなった。

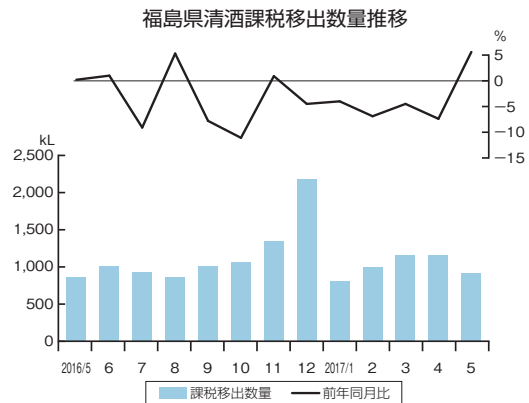
電灯電力 5月の電灯電力販売量は、1,038百万kWh（前年同月比△2.1%）となり、2カ月ぶりに前年を下回った。



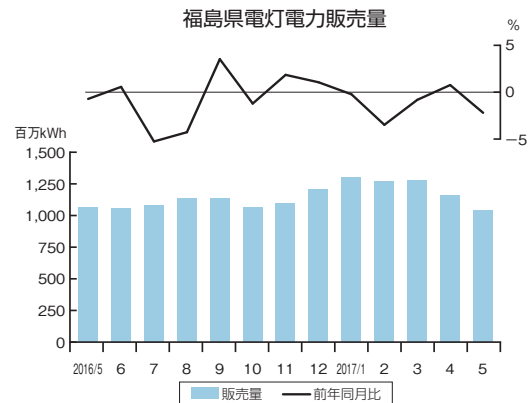
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力(株)福島支店)